

大学入学者選抜における総合的な英語力評価を推進するためのワーキンググループ（第2回）の概要について

英語資格・検定試験における地理的・経済的事情等への配慮、志願者の利便性の向上その他総合的な英語力の評価の推進に関し必要な事項（特に高校会場の拡充や検定料減免、オンライン受検における不正防止対策）について、文部科学省及び各英語資格・検定試験実施団体における現段階での取組状況について情報共有及び意見交換を実施。

<日時>

令和4年9月2日（金） 14:00～16:00

<議題>

■英語教育に関する文部科学省の取組状況について

- ①令和3年度英語教育実施状況調査の概要について
- ②英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて（アクションプラン）について
- ③社会で求められる総合的な英語能力に関する調査結果について

■英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決状況について（特に高校会場の拡充や検定料減免、オンライン受検における不正行為防止対策）

<主な意見>

- ・大学入試での利用を目的とした受検者全員に対して検定料を減免することは難しく、減免の対象者を議論する必要があるのではないか。
- ・試験の種類が増えている中、高校生がどの試験を受ければ良いか戸惑うことの無いよう、異なる試験間の比較をどのようにすれば良いかも課題。
- ・オンラインでの不正行為防止対策等含め、公平・公正に関して第三者評価などで質の担保をしてくれるような仕組みがあれば、大学として外部検定試験を取り入れやすいのではないか。